

新 官
大 日 本 語 學
全

チリ皆テモ招ト神言ン五是
愛立物ナ聲環モ國葉萬十書
ルノ事ン音ヲ字言ノ用ノハ
大言辭ニ態ヲ爲儀葉道ナ音諸
實カ葉ノニ以コヲハニ達ニ君
ナナ徳用テ不_レ見同_レ仰ル照ノ
ルニ行有及ル音カ根合平
木事ヲ學際ニカ迷元ヤ言
ナヲ達無_レ子不_レ數不_レヲ確葉
リ了_レトス學垣及公千可_レ明實ナ
知國ハス越指_レ萬有_レニ考
國獨是問ニ手有_レニ正_レテ

076933-000-2

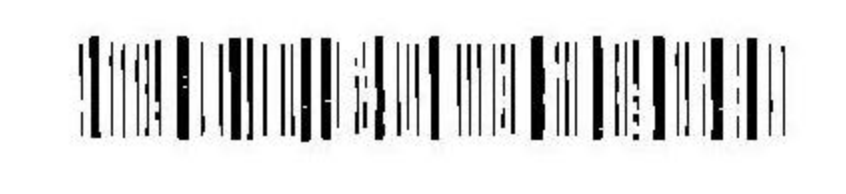
810-Y323d

大日本語学

山本 嘉六/著

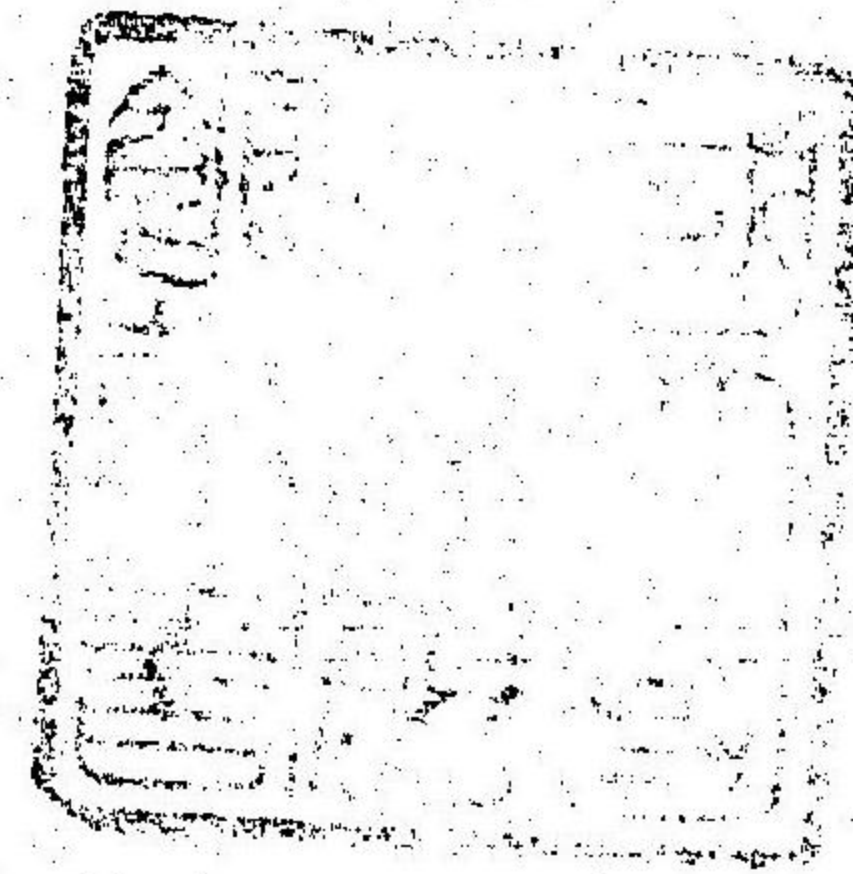
M16.1

DAC-0101



810.
Y323d

810.Y323d



大日本語之學序

難有キ御代ノ患ニハ。各國ノ語葉ノ學ビ明カニ。是ハ
 何國言語ナリ。彼ハ何國言語ゾト。學ビ行ウ時ナルニ。
 神國語ノ學ナシ。歌人言葉ヲ學トモ。平語ニハ關係ナ
 ク。然ラハ神國諸人ニ。對テ語ノ學ビナシ。天地ノ發ヨ
 リ確乎ナル。一國立ノ言ノ葉ハ。言傳ニテ書物ニナシ
 拙者常日言葉ノ原因ヲ。心ニ懸テ諸君ノ。平ノ言葉ヲ
 考エテ。五十ノ音ニ照合セ。神國言葉定格ヲ。明ニ學ビ
 心エテ。該味工合ノ美ユト。筆ヤ紙ニハ難盡ト雖。兒童
 ガ五十ノ音ヲ讀ミ。其儀ノ味ヲ知ラサルハ。險トモ味

大日本語

一



244869

ヲ知^{シラ}サル如^ククナリ。是^レ故^ニ言^ハ葉^ノ學^ヲ著^テ五十^ノ音^ニ
ガ萬^ヨ用^モ達^スナリ。獨^リ稽^古ノ本^ナナリ

明治十五年十二月官許
明治十六年一月出版

三重縣伊勢國桑名郡桑名鍋屋町
考著人 山本嘉六

東京神田區豐嶋町四十一番地
出版人 竹澤清吉

目錄

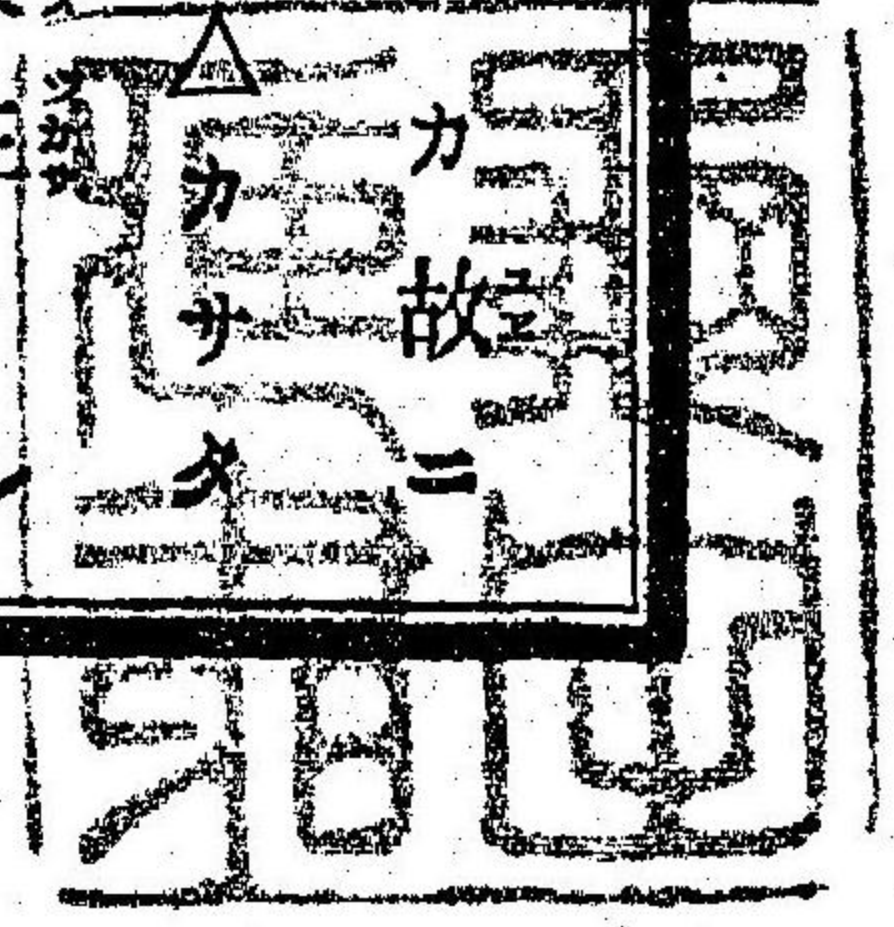
第一	五十音ノ全圖	二丁	第九	言葉原由論	七丁
第二	神國言葉差別	四丁	第十	物ノ部	八丁
第三	大政官御布告試	五丁	第十一	事ノ部	同
第四	小學入門ノ試	同	第十二	辭ノ部	十三丁
第五	大學ノ試	六丁	第十三	濁音并同音	十四丁
第六	阿彌陀經ノ試	六丁	第十四	辭 ^ヨ 儀 ^リ ノ變 ^ル 事	十六丁
第七	試 解説	七丁	第十五	要論	十七丁
第八	異國信仰ノ論	同			

第一五十五音全圖

ア	カ	サ	タ	ナ	ハ	マ	ヤ	ラ	ワ
イ	キ	シ	チ	ニ	ヒ	ミ	ヰ	リ	イ
ウ	ク	ス	ツ	ヌ	フ	ム	ユ	ル	ウ
エ	ケ	セ	テ	ネ	ヘ	メ	ヱ	レ	エ
オ	コ	ソ	ト	ノ	ホ	モ	ヨ	ロ	オ
五	五	五	五	五	五	五	五	五	五

此五音ハ萬ノ
 音ハ萬ノ
 物事ヲ用
 行ニ不足
 事ナシ亦
 餘ル事モ
 ナキ奇妙
 根元ノ音
 ナリ

ア イ ヲ エ ナ ノ 五音ハ本ニシテ獨立ノ音ナルカ故ニ
 何程音ヲ承ク引スル共他ノ韻ニ變化ヲナシ
 ナハマヤラワノ九音ハ一位シテ萬ノ事ヲ發主トル
 音ナリ其音承ク引ズル時ハ皆悉クアノ韻ニ戻ナリ
 △キシナニヒミヰリイノ九音ハ二位シ萬ノ事ヲ定
 主音ナリ其音承ク引スル時ハ皆悉クイノ韻ニ戻ナ
 リ△クスツヌフムユルウノ九音ハ三位シ萬ノ事ヲ
 用ヰ主音ナリ其音承ク引スル時ハ皆悉クウノ韻ニ
 戻ナリ△ケセテテヘメエレエノ九音ハ四位シ人ニ
 仰ルヲ主音ナリ其音承ク引スル時ハ皆悉クエノ韻ニ



ニ戻ルナリ△コソトノホモヨロオノ九音ハ五位ニ
 萬ノ事ヲ候イ主ル音ナリ其音永ク引スル時ハ皆悉
 クヲノ韻ニ戻ルナリ△一ハ事ヲ發。二ハ事ヲ定。三ハ
 事ヲ用。四ハ事ヲ仰ケ。五ハ事ヲ候ウノ要領ガ差別
 ニテ儀、理カ。悉皆譯ルナリ

第二神國言葉差別ノ事

神國言葉ハ五十音ノ縱横ニ深儀、理カ具足テ 物
 事 辭 ト三ツニ儀、理ヲ持チ區テ

物 トハ 天地間ニ有ト在ラユル萬物ノ稱名ナリ
 該名ヲ喚フ音ヲ則ト言ウ 悉クハ下(物)ノ部ニテ知ルヘシ

事 トハ 五行ニ事ヲ發定用仰候ノ五ツノ儀務ヲ至
 ス音ヲ則ト事ト言ウ 悉クハ下(事)ノ部ニテ知ルヘシ

辭 トハ 物ト事トノ手ニ合セテ深キ種々ノ儀、理ヲ顯ス音ヲ則
 辭ト言ウ 悉クハ下(辭)ノ部ニテ知ルヘシ

明治十五年十一月十日太政官御布告

第三太政官御布告試ノ事

本年	年ノ名	四月	月ノ名	第七號	番ノ名
縣ノ名	群馬縣	所ノ名	下前橋	マテ	マテ
今般	今ノ名	所ノ名	右川口	前同斷	ヨリ
公園	林ノ名	方角名	東邊	マテ	マテ
線路	道ノ名	建設	園	マテ	マテ
鐵道	鐵道	建築	鐵道	マテ	マテ
建築	造ル名	儀	布達	マテ	マテ
縣ノ名	埼玉縣	所ノ名	下川口	マテ	マテ
今般	今ノ名	所ノ名	東京	マテ	マテ
今般	今ノ名	所ノ名	上野	マテ	マテ

上ニ舉タル物事辭ノ。三ツカ連テ用行ウキハ
 △始ニ物ノ名ヲ稱ヒ其事ヲ發カ定カ用カ仲カ候カ
 ノ五行ニ事ル時辭カ其手ニ合セテ深キ儀ヲ現シ神
 國人民ノ日毎ニ繁キ營業ノ過果ヲ爲萬用ヲ達ス内
 國ニ並ナキ大寶ハ言葉ナリ
 物ナキニ事アル事ナシ 物事ナキニ 辭アル事
 ナシ物事辭三ツ連スハ萬用不整ズ 假令ハ 物ハ
 木枝ノ如ク 事ハ花葉ノ如ク 辭ハ木實ノ如クナリ
 世ニ物事ト言ウハ是也
 右之如クナルヲ以テ下ニ試ヲ記ス

右ニ舉タル物ハモ印事ハコ印。辭ハテ印。コノ三ノ差別カ整イ萬用ヲ達ス根元ナリ下是準ヘシ

第四小學入門 試ノ事

神	モ	の	テ	主宰	に	レ	テ	人	ハ	テ	萬物	の	テ	靈	モ	コ										
善道	モ	を	テ	以	テ	身	ヲ	修	メ	信	儀	を	テ	以	テ	人	モ	に	テ	取	ル					
親子	モ	の	テ	間	モ	ハ	テ	親愛	を	テ	主	ト	テ	レ	兄弟	モ	ハ	テ	兄弟	の	テ	際	モ	ハ	テ	云々

第五大學試ノ事

大學

朱喜章句

子	モ	程	子	ノ	テ	曰	コ	大	學	ハ	孔	子	ノ	テ	遺	書	而	初	學	ハ	入	德	門	也
於	モ	今	可	見	古	人	爲	學	次	第	者	獨	賴	此	篇	之	存	而						
論	モ	孟	次	之	學	者	必	由	是	而	學	焉	則	庶	乎	其	不	差	矣					

異國語ヲ其儘ニ用行達ル迪モ物名限ニ極テ事辭ニ
用行事ハナシ異語ノ横文字ヲ神國言葉翻譯テ萬用
達ル物ニ漢國語ハ八重ナル歟音カ五十テ數萬ノ文
ハ何哉

第九言葉原由ノ論

抑言葉ノ原由ヲ愚考ヌルニ自然リ出來タル者テナ
シ。神國音ノ發リハ日月星辰松竹梅ハ漢國ノ日月星
辰松竹梅然ラハ日月星辰松竹梅ハ神國
先祖ノツケタモリナリ

ハ漢國先祖ノツケタモリナリ。何連ノ言葉モ如斯各
國言語モ如斯
各國ノ遠先祖ハ尊歟。言語ヲ種々製造テ。該國人ニ賦
與。長ニモ變化ヌハ深恩。頼ソ難有シ

第十物ノ部

物トハ 天地ノ間ニ有ト在ユル萬ノ物ノ稱名ナリ
數多クシテ。書不盡事不能然者名トサエナレハ何モ
物也猶悉ハ後編解記ス

第十一事ノ部

ア	イ	ウ	エ	オ	ハ	ナ	タ	カ	發一定二用三仰四候五
ヰ	ヱ	ヱ	ヱ	ヱ	ハ	ニ	ナ	キ	
ヰ	ヱ	ヱ	ヱ	ヱ	ハ	ニ	ナ	ク	
ヰ	ヱ	ヱ	ヱ	ヱ	ハ	ニ	ナ	ケ	
ヰ	ヱ	ヱ	ヱ	ヱ	ハ	ニ	ナ	コ	

五十ノ音ハ天地ノ發ヨリ長ニ變化亡事無
 神國人ノ神魂ニ質テ居ル處ノ人種ニシテ
 三世世界ニ無類名號ナリ其用行功德左ニ
 下ニ擧タル爲ト云テ以例

爲	爲	爲	爲	爲	爲	爲	爲	爲	爲
仕事ササン	仕事ササン	仕事ササン	仕事ササン	仕事ササン	仕事ササン	仕事ササン	仕事ササン	仕事ササン	仕事ササン
仕事ササン	仕事ササン	仕事ササン	仕事ササン	仕事ササン	仕事ササン	仕事ササン	仕事ササン	仕事ササン	仕事ササン
仕事ササン	仕事ササン	仕事ササン	仕事ササン	仕事ササン	仕事ササン	仕事ササン	仕事ササン	仕事ササン	仕事ササン
仕事ササン	仕事ササン	仕事ササン	仕事ササン	仕事ササン	仕事ササン	仕事ササン	仕事ササン	仕事ササン	仕事ササン

右一ツ言葉カ二十ニ事ト物ト辭トノ差別
 ニヨリ同音カ千萬有共字儀ヲ見ニ不及指
 差手招杯爲ニ不及速ニ用行言葉ノ根本也

大日本語學全圖

業言發 = 行ヤ	業言發 = 行ナ	業言發 = 行カ
ララサヤ	ララサナ	ララサカ
リリシキ	リリシキ	リリシキ
ルルスユ	ルルスス	ルルスク
レレセエ	レレセチ	レレセケ
ロロソコ	ロロソノ	ロロソコ
業言發 = 行ラ	業言發 = 行ハ	業言發 = 行サ
ララサラ	ララサハ	ララササ
リリシリ	リリシヒ	リリシシ
ルルスル	ルルスフ	ルルスス
レレセレ	レレセヘ	レレセセ
ロロソロ	ロロソホ	ロロソソ
業言發 = 行ワ	業言發 = 行マ	業言發 = 行タ
ララサワ	ララサマ	ララサタ
リリシイ	リリシミ	リリシチ
ルルスウ	ルルスム	ルルスツ
レレセエ	レレセメ	レレセテ
ロロソオ	ロロソモ	ロロソト

左ノ全圖ハ僕ノ考ト雖聊違ナシ
 諸君不審ハ御尋被下則御答仕候也

神國言葉ノ用行ハ音ノ終ニ儀理有右百八十通りニ限ル者ナリ

諸讀之必要

△シノ辭ハ仮リナリ

カサタナハマヤラワ 書差立死遊勇見上逢
 キシナニヒミイリイ 書差立死遊勇見上逢
 クスツヌフムユルウ 書差立死遊勇見上逢
 ケセチチヘメエレエ 書差立死遊勇見上逢
 コソトノホモヨロチ 書差立死遊勇見上逢

○印ヲ縦横ニ
 見通スヘシ

此九言葉ハ事仰所
 此九言葉ハ事候所
 此九言葉ハ事候所
 此九言葉ハ事候所
 此九言葉ハ事候所

言葉ノ數量ヲ種々寄集メ凡紙百枚ニ書留タルモヨ
 ホト大本ニシテ代價高直成力故ニ今畧キテ(書差立
 死遊勇見上逢)ノ九言葉ヲ以テ一言葉カ二十通ニ事
 儀、理ノ有事ヲ著シ是ニヨリ余ノ數萬ノ言葉モ悉皆
 此儀、理有事ヲ知ヘシ

字ヲ書給モ書
 頭ヲ汗カク
 耻ヲ汗カク
 一切カク
 五位カク
 事ハ行ニ

カ行かかん かきかかか
 カ行かかさん かかしかかすかかせかかそ
 ラ行かけらん かけりかけるかけれかける
 ラ行かかせらん かせりかかせるかかせれかかせろ

此ラ皆クナリ下是ニ準ヘ
 此ハ通言下是ニ準ヘ

傘^{カサ}チ差^{サス}申^{ウケ}ヲ差^{サス}
 月^{ツキ}ガサス水^{ミヅ}チサス
 指^{ササ}サ大^{オホ}氣^キカサス
 湖^{ウミ}カサス杯^{ハシ}ノ事^{コト}如^{ごと}
 一切^{イチゼツ}サス申^{ウケ}事^{コト}如^{ごと}
 ハ五位^{ゴイ}行^{ユク}ナリ
 事^{コト}ハ事^{コト}ナリ

サ行^{カギ}ささん さし さす させ さそ
 サ行^{カギ}ささん さし さす させ さそ
 ラ行^{カギ}らさん らし らす らせ らそ
 ラ行^{カギ}らさん らし らす らせ らそ
 ラ行^{カギ}らさん らし らす らせ らそ

目^メニ立^{タツ}旅^{リョ}ニ立^{タツ}
 日^ヒカタツ鳥^{トリ}カタツ
 風^{カゼ}ダツ氣^キカタツ
 學校^{ガク}タツ杯^{ハシ}ノ事^{コト}如^{ごと}
 一切^{イチゼツ}タツ申^{ウケ}事^{コト}如^{ごと}
 ハ五位^{ゴイ}行^{ユク}ナリ
 事^{コト}ハ事^{コト}ナリ

タ行^{カギ}たたん たら たつ たて たと
 タ行^{カギ}たたん たら たつ たて たと
 ラ行^{カギ}らさん らし らす らせ らそ
 ラ行^{カギ}らさん らし らす らせ らそ
 ラ行^{カギ}らさん らし らす らせ らそ

討^{ウチ}死^シ若^{ニホ}死^シ
 焼^{ヤク}シニ自^ジシニ
 人^{ヒト}シニ創^{ソウ}シニ
 則^{ソク}ニシニ杯^{ハシ}ノ事^{コト}如^{ごと}
 一切^{イチゼツ}シニ申^{ウケ}事^{コト}如^{ごと}
 ハ五位^{ゴイ}行^{ユク}ナリ
 事^{コト}ハ事^{コト}ナリ

ナ行^{カギ}ななん なに なぬ なね なの
 ナ行^{カギ}ななん なに なぬ なね なの
 ラ行^{カギ}らさん らし らす らせ らそ
 ラ行^{カギ}らさん らし らす らせ らそ
 ラ行^{カギ}らさん らし らす らせ らそ

船^{フネ}ヲ遊^{アソブ}山^{ヤマ}ニ遊^{アソブ}
 御^ミ座^ザマツ閑^{ヒラ}暇^{ヒマ}
 獨^{ドク}リマツ錢^{ゼン}チマツ
 夜^ヨハアツフ杯^{ハシ}ノ事^{コト}如^{ごと}
 一切^{イチゼツ}アツフ申^{ウケ}事^{コト}如^{ごと}
 ハ五位^{ゴイ}行^{ユク}ナリ
 事^{コト}ハ事^{コト}ナリ

ハ行^{カギ}あそばん あろび あろぶ あそべ あろぼ
 ハ行^{カギ}あそばん あろび あろぶ あそべ あろぼ
 ラ行^{カギ}らさん らし らす らせ らそ
 ラ行^{カギ}らさん らし らす らせ らそ
 ラ行^{カギ}らさん らし らす らせ らそ

神カ 勇人カ 勇イ
 大イ 夢イ 獨イ 夢イ
 祭イ 獨イ 夢イ 夢イ
 心カ イサムト 杯ノ 申事
 一切イ サムト 申事
 ハ五位 四行ニ
 事ハ 事ナリ

ヤ行いさまらん いさみ いさむ いさめ いさも
 ヤ行いさまらん いさまし いさます いさませ いさまろ
 ラ行いさめらん いさめり いさめる いさめれ いさめろ
 ラ行いさませらん いさませり いさませる いさませれ いさませろ

花カ 見月ヲ見
 心カ ミエ 夢ヲミヨ
 先カ ミエ 利ヲミヨ
 山カ ミエ 杯ノ 申事
 一切イ エルト 申事
 ハ五位 四件ニ
 事ハ 事ナリ

ヤ行みやん みる みゆ みゑ みよ
 ヤ行みやさん みやし みやす みやせ みやろ
 ラ行みえらん みえり みえる みえれ みえろ
 ラ行みやせらん みやせり みやせる みやせれ みやせろ

上カ 直ガ上
 船カ アガル 手カ アガル
 足カ アガル 學問カ アガル
 税カ アガル 杯ノ 申事
 一切イ アガルト 申事
 ハ五位 四件ニ
 事ハ 事ナリ

ラ行あがらん あがり あがる あがれ あがる
 ヤ行あがらん あがらし あがらす あがらせ あがらろ
 ラ行あがれらん あがれり あがれる あがれれ あがれろ
 ラ行あがらせらん あがらせり あがらせる あがらせれ あがらせろ

難カ 達宜ニ達
 人カ アウ 賊ニアウ
 火事ニ アウ 災難ニ アウ
 大慶ニ アウ 杯ノ 申事
 一切イ アウト 申事
 ハ五位 四件ニ
 事ハ 事ナリ

ラ行あわん あい あう あゐ あを
 ヤ行あわさん あわし あわす あわせ あわろ
 ラ行あわりん あわり あわる あわれ あわろ
 ラ行あわせらん あわせり あわせる あわせれ あわせろ

右ニ舉タル五位四行ニ事ル事拙者ノ考ニテ書ニ有
 ル事ナシ神國言葉ハ五段ニ儀務ヲ持別テ四行ニ事
 ル定格ヲ履ラサル言葉有ルコトナレ亦歌言葉ノ一
 段活中二段ノ活下二段ノ活等ハ平言葉ニハ關係ナ
 シ

左ニ記ス

歌言葉ノ活

爲

せ

じ

す

する

すれ

平言葉ノ定格

買買爲計算爲
 仕事スル能クスル
 裁判スル悪クスル
 勸解スル杯ノ如ク
 一切スル申事
 ハ五位四件ニ
 事ハ事ナリ

サ行さん	シ	ス	ゼ	ろ省
サ行さん	さし	さす	させ	さる
ラ行せらん	せり	せす	せれ	せろ
ラ行せらん	させり	させる	させれ	させる

右歌言葉ハ雅言平言葉ハ俗言ナルモ今大學者ト一文不知ヌ
 愚女ト萬用ヲ達ス時ニ聊モ不足ト申ス事ナシ然ラハ言葉ノ
 事ハ有學無學ニモ不拘ス諸ノ司ナルモノナリ神國ノ言葉根
 元ヲ悉皆辨エ知テ異國語ヲ學事如何猶悉ハ後編言葉全部ヲ解

第十二辭ノ部

抑辭トハ物事ノ手ニ合セテ種々ノ儀理ヲ顯シ萬用
ヲ達ス言葉ナリ左ニ記ス

- (カ) ハ 疑ノ義、理
- (タ) ハ 過去タル義、理
- (ナ) ハ 願ノ義、理
- (ヤ) ハ 不定義、理
- (ハ) ハ 判決區別ル義、理
- (サ) ハ 差別ル義、理
- (ダ) ハ 現在ル義、理
- (マイ) ハ 相想義、理
- (ラ) ハ 連ル儀、理
- (ニ) ハ 引附義、理

- (シ) ハ 仕立タル義、理
- (バ) ハ 究義、理
- (イハ) ハ ハノ所ニテ知ヘシ
- (エ) ハ 持得ルノ義、理
- (ト) ハ 并べ立ル義、理
- (テ) ハ 果終義、理
- (ノ) ハ 間トナル義、理
- (ヨ) ハ ヤト同義、理
- (ツ) ハ 乍儘ノ義、理
- (ジャ) ハ 定タル義、理
- (イ) ハ エト斷同義、理
- (ユソ) ハ 殊別ナル義、理
- (ソ) ハ 強ル義、理
- (ド) ハ 止ル義、理
- (デ) ハ 未來義、理
- (モ) ハ 重ル義、理
- (ナ) ハ 穩ナル義、理
- (シ) ハ 然タル義、理

△酒具灰島船ノ清音ガ
 白赤石炭
 紺島大船ト濁ル言葉ニ化ノハ白赤石紺大ハ
 天ノ容テ輕キ音△酒具灰島船ハ地ノ容テ重
 キ音故慥ナル證ハ△父△母ト始ハ清言葉モ
 其身ガ重クナルト△祖父△祖母ト清名ガ濁
 ル如クナリ余ハ是ニヨリ知ルヘシ
 但シ漢言理ノ濁ニ紛ウナカレ

第十四辭ニヨリ儀理ノ變ル事

祭——マツリ まつらん まつり まつる まつれ まつろ
 政——マツリ まつらさん まつらし まつらす まつらせ まつらろ
 奉タテマツリ まつれらん まつれり まつれる まつれれ まつれろ
 事ツカエマツリ まつらせらん まつらせり まつらせる まつらせれ まつらせろ
 仕ツカマツリ

字書 かがん かがし かく かけ かの
 頭搔 かがさん かがし かがそ がかせ かがろ
 恥 かがらん かけり かける かけれ かける
 瘡 かがせらん かがせり かがせる かがせれ かがせろ
 癩 かがせらん

三十一	三十二	三十三	三十四	三十五	三十六	三十七	三十八	三十九	四十	四十一	四十二	四十三	四十四	四十五	四十六	四十七	四十八	四十九	五十
...

明治十五年十二月十六日版權免許
同 十六年一月廿九日出版

〔定價金十八錢〕

著 人

三重縣平民
山 本 嘉 六
桑名鍋屋町

出版人

東京府平民
竹 澤 清 吉
神田區豐嶋町四十一番地

糊 書 林

東京日本橋通壹丁目
須原屋茂兵衛

